

喜入地域

KIIRE AREA



喜入地域の水辺スポット

- 1 瀬々串上湧水
- 2 瀬々串木場湧水
- 3 中名海岸
- 4 中名清水湧水
- 5 愛宕川河口のメヒルギ
- 6 八幡川河口
- 7 仮屋崎集落内水路
- 8 旧麓水路
- 9 香梅ヶ淵
- 10 かじか公園
- 11 貝底橋
- 12 前之浜海岸
- 13 生見のメヒルギ自生地
- 14 生見海水浴場
- 15 井手之河湧水

喜入地域-1
湧水

瀬々串上湧水

せせくしかみ
ゆうすい



瀬々串上集落が管理している湧水で、石積みから水が湧き出ていて、近くには水神が祀られています。この地区の湧水井戸は以前は別のところがありましたが、水量が少なく使用する人が増えたため、明治6年に現在の場所に水を求めて開設されました。昭和30年、この地域にも簡易水道が完成したこともあり、現在は飲み水や生活用水としては使用されていません。

所在地 鹿児島市喜入瀬々串町
※JR踏切近く。

この水辺で
できること
湧水に触れる
歴史を実感

マップは
ココから!



喜入地域-2
湧水

瀬々串木場湧水

せせくしこば
ゆうすい

瀬々串下集落が管理している湧水で、2か所の蛇口からは水が絶えず流れ続けていて、水をくみに来る市民の姿も見られます。昔から地域の人々に大切にされている湧水で、水くみ場の奥には水神が祀られています。

所在地 鹿児島市喜入瀬々串町

※国道226号の瀬々串小入口交差点から瀬々串小学校方向に約500m進み、薬局手前を右折後約500m。



この水辺で
できること
湧水に触れる
歴史を実感

マップは
ココから!



喜入地域-3
親水スポット

中名海岸

なかみょうかいがん

瀬々串から中名に至るまでの海岸は、防潮壁の前面に磯浜と砂浜が広がっています。ここはカニ類やウニ、カサゴなどの漁場となっているほか、冬には青のりの養殖が行われ、収穫された青のりは、地域の特産品の生のりや冷凍のりとして出荷・販売が行われています。

所在地 鹿児島市喜入中名町
※JR中名駅から約800m。



この水辺で
できること
景観がGood!

マップは
ココから!



喜入地域-4
湧水

中名清水湧水

なかみょう
しみずゆうすい



中名中集落にある湧水で、水道が整備されていない時代に、集落の人々が飲み水や生活用水として使用していました。水くみ場を覆っている小屋は、後から造られたもので、現在も生活用水として使用されています。

所在地 鹿児島市喜入中名町
※国道226号の樋高踏切交差点から中名小学校方向に進み、今別府理容所前バス手前を右折し約80m。

この水辺で
できること
湧水に触れる
歴史を実感

マップは
ココから!



喜入地域-5
親水スポット

愛宕川河口のメヒルギ

あたごがわかこうの
めひるぎ

八幡川と愛宕川の河口は繋がっていて、干潮時には一帯に干潟が姿を見せます。愛宕川河口は熱帯から亜熱帯に生育するメヒルギが自生し、マングローブ林を形成しています。ヒメカノコガイなどが生息していて、ハクセンシオマネキのオスが大きなハサミを振る様子も見ることができます。

所在地 鹿児島市喜入町
※マリニピア喜入から谷山方面に約900m進んだ旧市中名橋近く。



この水辺で
できること
干潟観察
景観がGood!

マップは
ココから!



喜入地域-6
親水スポット

八幡川河口

はちまがわ
かこう



八幡川と愛宕川の河口は繋がっていて、干潮時には一帯に干潟が姿を見せます。マクガイやハクセンシオマネキが生息していて、河畔ではカワセミなどの野鳥も観察できます。

所在地 鹿児島市喜入町
※マリニピア喜入付近。

この水辺で
できること
干潟観察
野鳥観察

マップは
ココから!



喜入地域-7
親水スポット

仮屋崎集落内水路

かりやざきしゅうらくない
すいろ



八幡川水系宇都川の仮屋崎集落内水路沿いには桜並木が広がり、春になると美しい桜の花で彩られます。周辺の田園風景を眺めながら散歩ができるほか、初夏の夜にはホタルが舞い、幻想的な光景を楽しむことができます。

所在地

鹿児島市喜入町

※喜入学校給食センターから東に約200m。

この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

桜の花見
ホタル観賞

マップは
ココから!



喜入地域-8
親水スポット
湧水

旧麓水路

もとふもとすいろ

給黎城の城下町(旧麓)に流れていた水路が現存し、武家屋敷のたたずまいが残る歴史的な空間となっています。湧水を利用した水路は幅約1m、長さ約500mで、1年を通じてきれいな水をたたえ八幡川に流れ込んでいます。周辺の田んぼを潤すほか、住民が野菜を洗ったり冷やしたりする姿が見られ、地域に親しまれる清流となっています。

所在地 鹿児島市喜入町

※喜入学校給食センターからグリーンファーム方向に約500m。

この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

歴史を実感
湧水に触れる
湧水さがし

マップは
ココから!



喜入地域-9
親水スポット

香梅ヶ淵

こべがふち



旧麓集落に八幡川の清流が淀んでできる紺碧の淵があります。樹林を突き抜けた日差しは清流を輝かせ、神秘的な空間となっています。周辺では野鳥が多くみられ、鳥のさえずりなどを楽しむことができます。この淵には香梅という侍女の物語が伝えられており、この淵の名はその名をとったものと言われています。

所在地

鹿児島市喜入町

※喜入学校給食センターからグリーンファーム方向に約1km進み、左折後約100m。

この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

川のせせらぎが聞ける
野鳥観察
歴史を実感

マップは
ココから!



喜入地域-10
親水スポット

かじか公園

かじかこうえん

八幡川上流域にある公園で、樹林間を流れる清流には早瀬や淵がいくつも見られ、ホタルが舞い、メダカが泳ぎ、鹿のようにフイフイと鳴くことから名がついたカジカガエルなどが生息する自然豊かな空間となっています。

※溪流付近では、安全上、遊ばないでください。

所在地

鹿児島市喜入一倉町

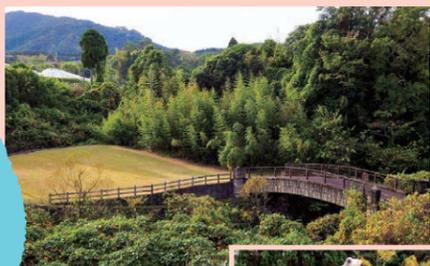
※一倉小学校近く。

この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

川のせせらぎが聞ける

マップは
ココから!



喜入地域-11
親水スポット

貝底橋

かいぞこばし



この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

歴史を実感

マップは
ココから!



明治43年に貝底川に架けられた2連アーチの石橋です。2連アーチの装飾は甲突川五石橋の技術を受け継いでいると考えられています。この橋は、地域の人々にメガネ橋と呼ばれ、親しまれています。

所在地

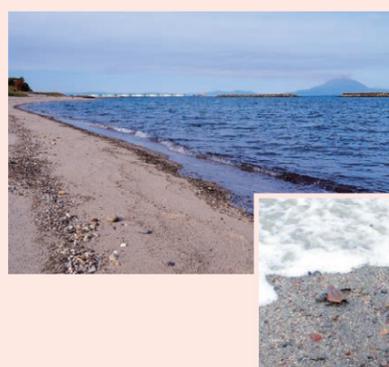
鹿児島市喜入前之浜町

※前之浜郵便局近く。

喜入地域-12
親水スポット

前之浜海岸

まえのはまかいがん



防潮壁の前面に砂浜が広がり、毎年のようにウミガメが上陸・産卵し、稚ガメが海へと帰っていく母なる浜となっています。地元の小学生や企業が定期的に清掃活動を行い、海岸の保全に取り組んでいます。

所在地

鹿児島市喜入前之浜町

※JR前之浜駅から約100m。

この水辺で
できること

—— 景観がGood! ——

マップは
ココから!



喜入地域-13
親水スポット

生見のメヒルギ自生地

ぬくみの
めひるぎせいち

熱帯から亜熱帯の河口干潟に生育するメヒルギの自生北限地として、国の特別天然記念物に指定されています。メヒルギはその果実が琉球のコウガイ(かんざし)に似ているところからリュウキュウコウガイとも呼ばれています。また、一画にはハマボウの群生地があり、夏に黄色の花を咲かせます。

所在地

鹿児島市喜入生見町

※生見海水浴場から谷山方面に約1.3km。

この水辺で
できること

—— 干潟観察 ——

景観がGood!

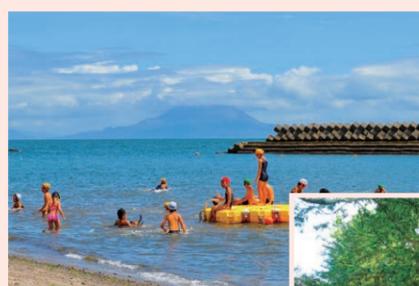
マップは
ココから!



喜入地域-14
親水スポット

生見海水浴場

ぬくみ
かいすいよくじょう



砂浜と松林が広がる海水浴場です。眼前に桜島を眺め、松林の木陰で憩いながら海水浴を楽しむほか、シーカヤック体験講座が開催されるなど錦江湾の海の魅力を感じることができる海水浴場です。

所在地

鹿児島市喜入生見町1345-8

この水辺で
できること

—— 海水浴 ——

景観がGood!
シーカヤック体験

マップは
ココから!



井手之河湧水

いでんこゆうすい



丘陵地の麓にある井手之河は湧き水が噴出し、鯉や小魚、カニ類などが生息しています。ここは、桜が植えられた井手之河池農村公園として整備され、市民が気軽に水辺にふれあえる憩いの場所となっています。公園の横には滝があり、勢いよく流れ落ちる水の一部は井手之河に流れ込んでいます。

所在地

鹿児島市喜入生見町

※県道245号を生見小学校正門から指宿市方面に約80m進み、変則四差路を農道へ直進した突き当り。

この水辺で
できること

- 湧水に触れる
- 湧き水さがし
- 景観がGood!

マップは
ココから!



水辺のフレーム

6 石橋

火山の多い鹿児島には、溶結凝灰岩が広く分布しています。溶結凝灰岩は火山から噴出した高温の火砕流が堆積してできた火砕流堆積物で、火砕流堆積物の中でも、自らの熱と重みで固まってできた岩石です。この溶結凝灰岩は、比較的加工しやすいことから、古くから石垣や門柱、石橋、墓石、建物外壁など、様々な石造物に用いられていて、鹿児島の石の文化を垣間見ることができます。今は石橋記念公園や祇園之洲公園に移築されている石橋にも溶結凝灰岩は用いられていて、もっとも多く使われているものは、約30万年前の噴火によってできた加久藤火砕流堆積物による「小野石」と呼ばれています。小野石は比較的柔らかく粘りがあり、石橋の橋脚に使われました。小野石で造られた主な石造物には、旧集成館の建物外壁や鹿児島アリーナにある旧鹿児島刑務所正門があります。

石橋記念公園・祇園之洲公園に移築されている石橋

鹿児島市の中心を流れる甲突川には、江戸末期、肥後の名石工「岩永三五郎」指導のもと建造された5つのアーチ石橋（玉江橋、新上橋、西田橋、高麗橋、武之橋）が架けられていましたが、平成5年（1993年）8月6日の集中豪雨により、新上橋と武之橋が流失してしまいました。残った玉江橋、西田橋、高麗橋は石橋記念公園と祇園之洲公園に移築されました。



玉江橋



西田橋



高麗橋

石橋記念公園

所在地

鹿児島市浜町1-3



マップは
ココから!

祇園之洲公園

所在地

鹿児島市清水町10-2 ほか



マップは
ココから!